歴史と文化をめぐるぶらぶら散策

落合編

ここ落合は江戸時代より江戸近郊の名所として知られ明治以降は宅地開発が進み大正期には高級分譲地「目白文化村」も登場。関東大震災、西武鉄道村山線開通に伴い、市街に住む人々が移り住むようになった。その中には作家や芸術家、学者なども多くいた。今回はおとめ山公園や作家林芙美子、画家佐伯祐三、中村彝の三つの記念館を中心に落合界隈をのんびり歩いてみた

イラスト／ヨシダケン

TOPICS 中村彝（つね）と佐伯祐三

大正5(1916)年、新宿は落合の地に一人の芸術家が、アトリエを設けた。若き洋画家・中村彝だ。その頃の日本は大正デモクラシーと好景気に沸き、芸術・文化においては西洋に学んだ明治期を経て、独自の個性が花開きつつある時代であった。

職業軍人の道を肺結核で断念した彝は、傷心を埋めるようにキャンバスに向かい、明治の西洋絵画をけん引した「白馬会」「太平洋画会」の絵画学校に通った。またたく間に頭角を現すと、新宿中村屋の相馬愛蔵・黒光夫妻の知遇を得て活動。その後、落合に移り、病と格闘しながら終生創作を続けることになった。

大正9(1920)年、彝は盲目の詩人ワシリー・エロシェンコと運命の出会いを果たす。モデルの依頼を承諾したエロシェンコは、8日間にわたり彝のアトリエに通い、彝は友人の画家・鶴田吾郎と共に絵筆を取り続けた。こうして描かれたのが生涯の代表作「エロシェンコ氏の像」(重要文化財)である。レンブラント、ルノワールに私淑したといわれる彝の作品群のなかでも、鬼気迫る名作とされている。

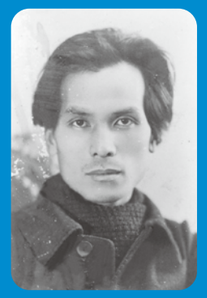
彝は大正13(1924)年に37歳の若さで没する。その軌跡と交わるように落合に移り住んだのが、もう一人の天才・佐伯祐三だ。

祐三は大正10(1921)年、彝のアトリエのほど近くに自身のアトリエを建設した。そしてフランスに渡る大正12(1923)年までと、大正15(1926)年に帰国し再渡仏する昭和2(1927)年までの、合わせて4年をここで過ごす。

パリでは裏町風景をライフワークとして描き、30歳で客死した祐三。国内での制作拠点とした場所が、ここ落合だったのだ。付近の景観を描いた連作「下落合風景」は、鮮やかな色使いと繊細な筆致が印象的だ。

西洋絵画を自らの作風に消化し、個性を放った2人の夭折の天才。その目に、落合の風景はどのように映ったのだろうか。2つのアトリエはそれぞれ記念館として、今も主の生涯を伝えている。

中村彝


佐伯祐三

写真協力：新宿区立新宿歴史博物館

歴史をたどる 今回出合った史跡・文化財

史跡・文化財等

区指定文化財 →P.18 A-3

中井御霊神社 中井2-29-16

区内唯一の江戸時代の社殿と区内最古の狛犬がある。毎年1月13日には葛谷御霊神社とともに備射祭が行われる。

国登録文化財 →P.18 D-3

目白ヶ丘教会 下落合2-15-11

礼拝堂は1950年にフランク・ロイド・ライトの弟子・遠藤新が最後に設計した建築。2011年に国登録有形文化財に登録。

都選定歴史的建造物 →P.18 D-3

日立目白クラブ 下落合2-13-28

1928年に学習院の寄宿舎として建てられたスパニッシュ様式の建物。アーチ型の窓が印象的。現在は日立製作所が所有。

都選定歴史的建造物 →P.18 C-2

聖母病院
中落合2-5-1

1931年にキリスト教精神に基づき開院。本館はスイス人建築家マックス・ヒンデルの設計。建物中央の二つの塔が特色。

→P.18 B-3

中井出世不動尊
中落合4-18-16

江戸時代の僧侶・円空により彫られた不動明王と二童子像を安置。毎月28日の午後に御開帳される。

新宿ミニ博物館

→P.18 B-3

染の里 二葉苑
上落合2-3-6

新宿区の地場産業・染色業の工房。東京染小紋や江戸更紗の製作を見学できる。無料／11:00～17:00／日・月休館

→P.18 A-3

目白学園遺跡
中落合4-31-1

学園付近で発掘調査が行われた落合遺跡の、縄文～奈良時代に及ぶ出土品を展示する。無料／10:00～16:00／土・日・祝等休館

落合の三つの記念館

→P.18 D-2

中村彝（つね）アトリエ記念館
下落合3-5-7

大正時代に活躍した洋画家・中村彝のアトリエを当時の部材を使って復元。無料／10:00～16:30／月(休日の場合その翌日)・年末年始休館

→P.18 C-2

佐伯祐三アトリエ記念館
中落合2-4-21

洋画家・佐伯祐三が国内での制作拠点としたアトリエを整備。無料／10:00～16:30(10～4月は16:00まで)／月(休日の場合その翌日)・年末年始休館

→P.18 B-3

林芙美子記念館
中井2-20-1

『放浪記』『浮雲』などで知られる作家・林芙美子が住んだ家。展示室では関連資料も公開。有料／10:00～16:30／月(休日の場合その翌日)・年末年始休館